



PROFILE



株式会社ダイワハイテックス
通販支援事業部 マネージャー

芝田 心平 Shinpei Shibata

1977年9月20日生まれ、愛媛県出身。広島工業大学工学部電気工学科卒。セキュリティ機器販売会社を経て、2012年にダイワハイテックスに入社。2018年から現職。営業ですがまだまだ勉強中。



株式会社清長
第一事業部 部長

朝比奈 大輔 Daisuke Asahina

1979年生。千葉県出身。高校卒業後、訪問販売、ルートセールス、ドライバー等を経て2010年から現職。物流センターの立上げを数多く経験。ロジスティクス事業部の部長として現場管理、営業側面のフォローを行う。

コスパのよい出荷ラインを実現するための 秘策とは？ 複数の箱サイズにも対応可能な 『CARGOWELL』に迫る

「出荷量の増加や波動に対応できる物流ラインを構築したい」「機械化にはコストがかかる」そんな課題をクリアにするのが、株式会社ダイワハイテックスの出荷ライン『CARGOWELL』。今回は3PL事業者である株式会社清長の導入事例をご紹介します。ダイワハイテックスの通販支援事業部 マネージャー 芝田 心平氏、清長の物流事業本部 第1事業部 部長 朝比奈 大輔氏にお話を伺いました。

メール便や、複数の箱サイズにも柔軟に対応できる出荷ライン

▼芝田 ダイワハイテックスは、本の包装機械のメーカー・販売業として創業した後、顧客である書店向けに防犯、販促用シールの販売など事業を拡大していく中で、通販用に本の梱包機械を開発したこと、5年前に通販支援事業を本格的にスタートしました。現在通販支援事業の柱となっている『CARGOWELL』は、通販物流における梱包から出荷までの流れを省人化すべく、梱包機械やそれを用いた出荷ラインを提供するサービスです。

メール便に適した小型荷物の梱包を行う『PAS-Line』と、ダンボールサイズの大規模荷物の梱包を行う『BOS-Line』があり、『BOS-Line』には箱のサイズが単一なケースに対応した『Single』と、箱のサイズが複数あるケースに対応した『Multi』があります。

顧客はおもに中小規模のEC事業者や3PL事業者様です。とくに『PAS-Line』は、都心のオフィスビルなどの小さなエレベーターにも搭載可能なサイズに設計しておりますので、自社で発送業務をされている小規模なEC事業者様にもご愛用いただいています。

お客様に最善のご提案をし続けることで、弊社としてもできること、レベルを上げていき、数年後には現状より機能の高い機械をご提案できるよう、常に前進しています。

質の高いサービスを提供し、
選ばれ続ける会社に

▼朝比奈 倉庫内業務において、梱包から出荷の領域は引き続きダイワハイテックスさんにお任せしつつ、弊社ではそれ以外の商品保管やピッキングの自動化や、従来は宅配会社が行っていた荷物の計測や入力なども、機械を入れて代行をしています。今後も小さなところからでも、物流にかかる労力をカットし、業界全体の最適化・効率化をもっと進めていきたいと思っています。その結果、荷主さんや宅配会社からも選んでいただける企業であり続けたいと考えています。

▼芝田 物流業界の変化はめまぐるしく、荷主さんの需要も変わってきていますので、引き続き臨機応変さを大切にしたいです。導入しやすい価格で、汎用性のある機械を提供し、数年後に出荷量が増えた場合は機械を増やしてもらうようなご提案をしていきたいと思っています。

▼朝比奈 清長は物流を代行する3PL企業で、荷主にはEC事業者が多くいらっしゃいます。弊社では7年ほど前から、物流サービスの競争激化が進むことや、労働力不足を意識し、倉庫内の自動化・システム化を検討していました。そんな中、クライアントからいくつかの課題を伺ったのです。

具体的には「楽天市場の『あす楽』やAmazonの『プライムサービス』を意識し、当日の注文締め切りを極力伸ばしたい」「作業コストをカットしたい」「セールやプロモーションに向けて、出荷量の波動に対応できるラインが欲しい」というものでした。これに対応すべく、機械の導入を本格的に検討する中で、『CARGOWELL』と出逢ったのです。

導入ランニングコストの
安さと、フレキシブルな
対応が決め手に

▼朝比奈 『CARGOWELL』を選んだ一つの決め手は、費用対効果です。導入コストが安く、副資材を従来のダンボールからバブルシートにするなど無駄を省くことで、ランニングコストも大幅にカットできました。加えて副資材に関しては、クライアント向けにオリジナルデザインを作っていたなど、顧客への信頼につながるような対応もしていただき、



弊社としても非常に満足しております。二つ目は、さまざまなサイズの出荷物を、1つのラインで出荷できるような、システムをカスタマイズしていただけたことです。サイズごとに機械を変えると、莫大なコストが必要になってしまいます。小ロットの出荷も多い弊社にとっては魅力的でした。ダイワハイテックスさんの機械は、非常に汎用性があります。総合的に検討して、弊社もクライアントも『CARGOWELL』しかないとなり、導入を決めました。

注文締め切りを延長、
出荷量が増え、
店舗評価もアップ！

▼朝比奈 機械化で圧倒的に作業量も増え、以前は2000件でも大変な思いをしていたのが、1日3000件を余裕で出荷できるようになりました。締め切りが延びたことで、ユーザーレビューの評

価も格段に上がりました。梱包に使うダンボールは、商品サイズをセンサーで計測してから最適なサイズが選択されるので、配送料の削減になり、また機械が封をするため梱包の品質も高まり、ユーザーの満足度にもつながっています。清長ではクライアントの商品を担当する第一センターで『PAS-Line』を稼働させて5年になります。月5万件、1日2000〜3000件を出荷しています。

1年前には17社の中型・大型荷物をお預かりしている第七センターで、第一センターと同じ『PAS-Line』と『BOS-Line』を導入しました。月7万5000件、1日2500〜3500件と、全体の80%の商品をダイワハイテックスさんの機械で出荷しています。箱のサイズや割合の違う商品の出荷を、1台の機械でできることは本当に助かりますね。『CARGOWELL』は、物流センター全体の最適化するために非常に役立つと思います。

▼芝田 事業者様によってオペレーションは違いますので、必ず現場を見て、機械のスペックを検討します。もともと弊社の機械は汎用性のある設計をしているので、さほどコストをかけずに機能を追加できるようになっていま

CONTACT お問い合わせはこちらへ

株式会社ダイワハイテックス

03-3558-8131 担当 芝田
対応時間 平日9:00~17:00

info@daiwa-hi.co.jp

https://www.daiwa-logi.jp/

カーゴウェル **検索**

**ダイワハイテックス
3つのポイント**

- 費用対効果×柔軟性を併せ持つ**
- 顧客満足度の高い梱包技術**
- 物流業界全体の最適化・効率化を大きく牽引**